

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	10
事業名	幼稚園運営費	会計	款	項	目
		一般	10	2	2
施策	3	心豊かなまち	課名	学校教育課	
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名		
	3-1-1	幼児教育・学校教育の充実			
主要施策	①幼児教育内容の充実				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	幼児期の園児	目的 (対象がどのような状態になっているか)	発達課題 (自律性、自主性) や学びの連続性を踏まえた就学前教育を充実させる。
事業内容	①〔臨時職員賃金〕充実した園運営ができるよう臨時職員を適材適所で任用する。 ②〔医師・歯科医報酬費〕健全な健康管理が行えるよう医師会と連携する。 ③〔普通旅費〕県内外への園外研修を保障する。 ④〔スポ振負担金〕園で起きた事故等による園児の怪我の治療費を保障する。 ⑤〔一般消耗品費〕子どもが伸び伸びと使える画用紙や折り紙等を保障する。 ⑥〔社会見学補助金〕全額保護者負担にならないよう社会見学の一部を補助する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年 (目標)	
	1								
2									
3									
4									
5									
			平成29年度 (決算)		平成30年度 (決算)		平成31年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B					51,236		36,446	40,091	
財源内訳	直接事業費 A				51,038		36,248	39,893	
	うち一般財源				39,971		25,329	29,094	
人件費 (千円) B					198		198	198	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.03		198	0.03	198	0.03	198
	臨時職員 (人・千円)				0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業を拡充して継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	保育ニーズが高まり、待機児童が出る可能性があること。また、保育士の確保にも課題がある。
②H30年度に実施した取り組み	安心して子育てが出来る環境を心がけた保育運営を行ないました。	④今後の改善計画	幼児教育の無償化に伴い、町内の保育ニーズも高まっています。待機児童を出さないよう環境の整備を行っていきます。 【補助金】裏面

【別 紙】

(2) 事務事業の業務改善について【補助金】

<p>④今後の改善計画</p>	<ul style="list-style-type: none">●日本スポーツ振興センター負担金 児童生徒等の学業時の災害対応に有効な制度であるが、他市町の状況も踏まえ、受益者からの負担も視野に入れ検討していく必要がある。●社会見学補助金 園児が平等に教育を受けられるよう補助しているが、少額で有り効果が低いと考えられる。今後は、生活困窮者に対する支援は検討する必要がある。
-----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------